

経営比較分析表（平成28年度決算）

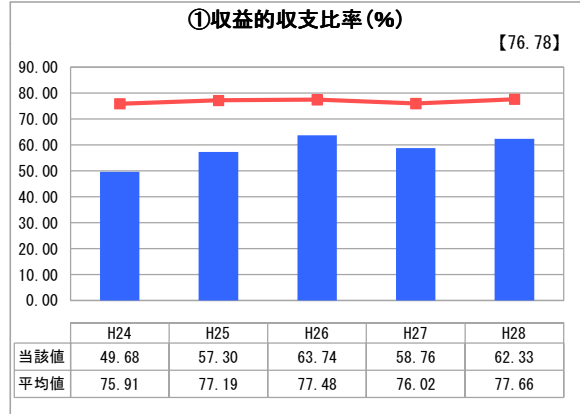
高知県 香美市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	38.29	1,944	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,641	537.86	49.53
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,156	20.30	500.30

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

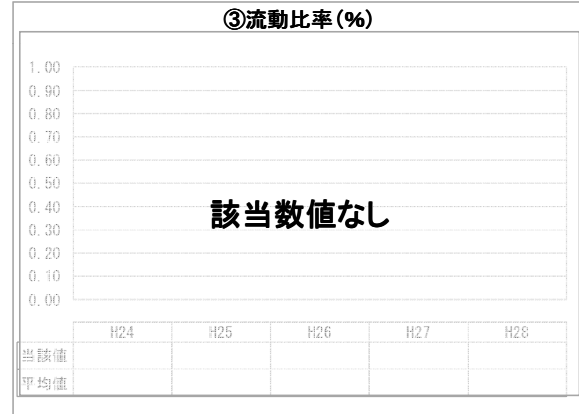
1. 経営の健全性・効率性



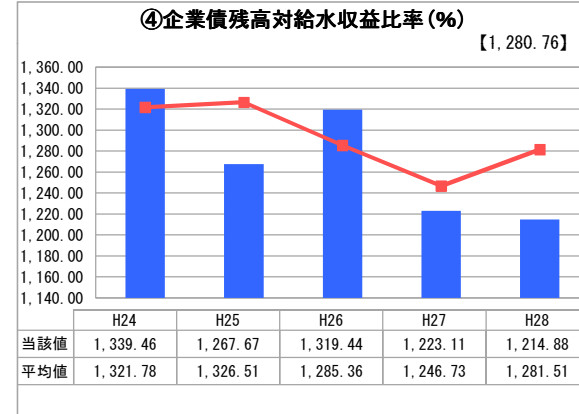
「単年度の収支」



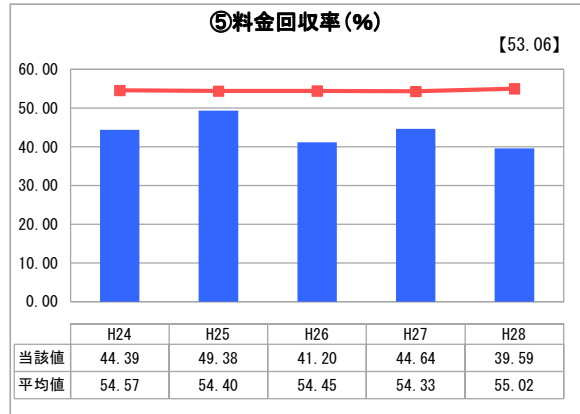
「累積欠損」



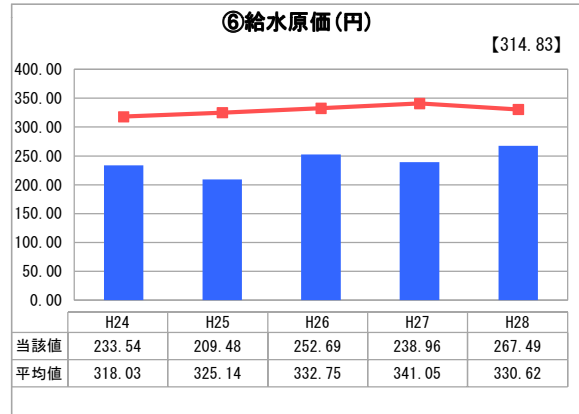
「支払能力」



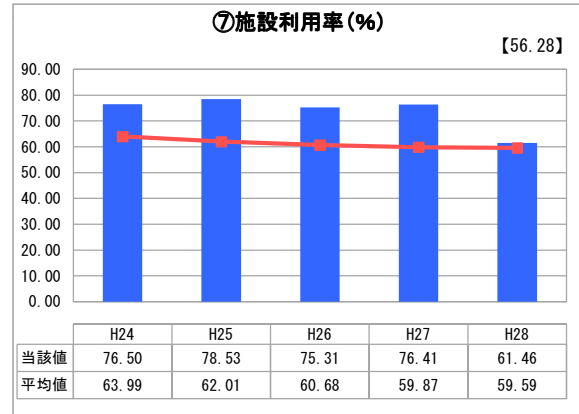
「債務残高」



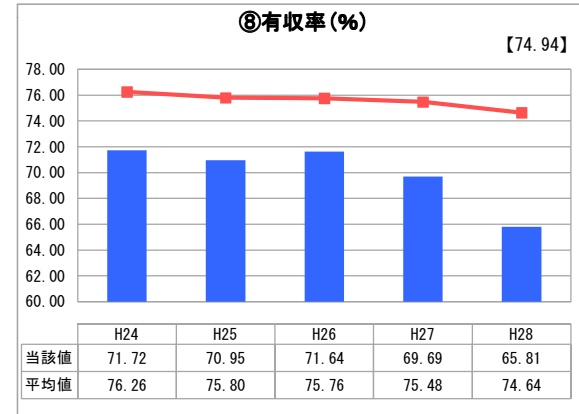
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

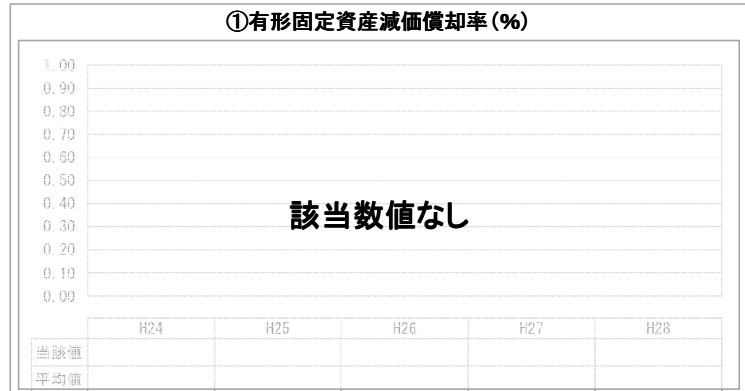
1. 経営の健全性・効率性について

当事業は、現在給水収益で維持管理費を賄っており、一般会計からの繰入金に依存していません。料金回収率も類似団体平均値を下回っており健全経営とは言えない状況です。水道施設の老朽化等により修繕費などの維持管理費が増大していき一方、給水収益は給水人口の減少等により今後減少していくことが予想されます。今後は、経営を改善していくためには、水道料金の改定を行うなど適切な料金収入の確保を図っていく必要があります。

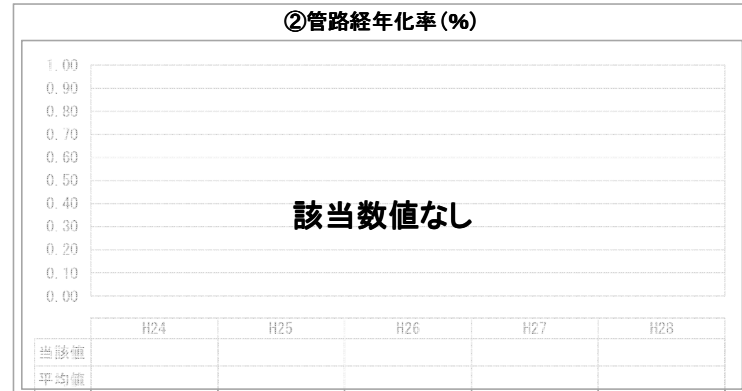
2. 老朽化の状況について

水道施設は、昭和40～50年代に建設されているものが多く、老朽化が進んでいるものの更新は進んでおらず、管路更新率も類似団体平均値を大きく下回っています。今後は、南海トラフ地震に備えた耐震化への対応も含め、施設更新の計画を策定し取り組む必要があります。また、施設老朽化による漏水も増えており、平成30年度には、重点的な漏水調査を行います。

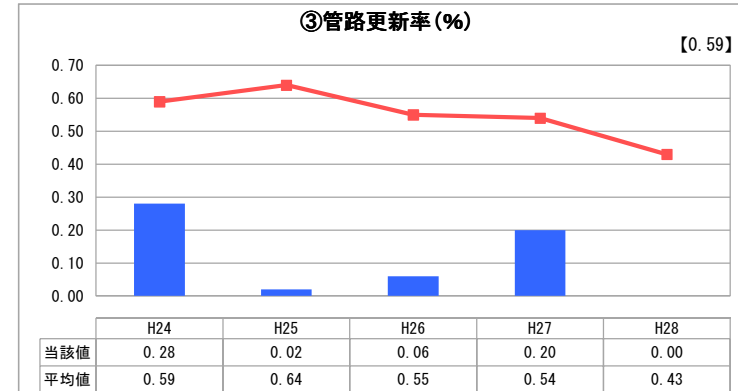
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

現在一般会計からの繰入金に依存し、今後の給水収益も減少が予想されるなか、修繕費などの維持管理費の増加や水道施設の更新・耐震化費用の確保が必要となっているため、今後はより一層の費用の増加が見込まれます。このような厳しい状況をふまえ、計画的に事業経営を行っていくための経営戦略の策定や、水道料金改定の検討などを行い経営状況の改善に努めていきます。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。